

県内商工会の地域貢献事業紹介

上小阿仁村商工会(県北地区)

事業名 上小阿仁村食農観まると推進協議会

1 事業内容

着地型、体験型観光で商品化が進んでいない地域に、人を呼び込む仕組みづくりを県と村で考えるという目的のもと設置され、会長を上小阿仁村 中田吉穂村長に就任してもらい設立しました。参加団体は北秋田地域振興局、上小阿仁村、上小阿仁村商工会、上小阿仁村観光協会、そしてかみこあに観光物産(株)です。大きな柱として①誘客促進事業②受入体制構築事業の2本を目的としております。

(1) 誘客促進事業として体験モニターツアーや道の駅かみこあにでご当地グルメ秋まつり、そして道の駅かみこあに内の4テナントによる収穫御膳2012ウィークなど開催。

(2) 受入体制構築事業として、主に観光案内人育成事業を中心に活動。育成研修会や観光案内の先進地視察及び講習会を開催。案内人候補として自薦及び各団体推薦の約15名が参加。先進地視察研修として小坂方面へ行き、小坂町観光案内人協議会と案内人について講和、研修を行いました。その後2回研修会を重ね、今年度は終了となりましたが、来年度も引き続き事業を継続し観光案内の形を確立していく方向であります。



ごっつおフェア



体験モニターツアー

2 事業の効果

上小阿仁村内の方だけでは人口減少及び高齢化により、流通の観点から限界があるため村外からの誘客が必要不可欠である。本協議会は、いかに村へ人が入ってくるかを考え、また村外客の誘客増員と現地村のおもてなし体制の向上に繋がるよう仕掛けることにより、総じて交流人口の増加に期待ができます。

河辺雄和商工会(中央地区)

事業名 まるとJANGO体験プロジェクト(企画提案型事業)

1 事業内容

平成19年度の全国展開支援事業を契機に「まるとJANGO河辺雄和」のキャッチフレーズのもと、ブランドの確立と認知度の向上を目指してきた。今年度はJANGOのロゴマークをピンバッジ化し、河辺雄和地域にゆかりのある人たちにJANGO応援隊としてピンバッジを購入してもらい、JANGOの宣伝効果の拡大を狙った。また、JANGO発の特産品を全国へ広めるための足がかりとして、お歳暮シーズンに河辺雄和地域の特産品12品目を詰め合わせた「まるとJANGO便」を100セット限定で販売した。

さらに、体験型観光スタイルを確立させ、交流人口の増大を図るため、「まるとJANGO体験ツアー」を実施した。この体験ツアーは地域のアーティストと連携したもの作り体験教室の開催、自然散策や農業体験など、地域の魅力を余すことなく盛り込み、多くの人が河辺雄和地域に興味を持ち、親しみを持って日常的に訪れるきっかけづくりとなった。



まるとJANGOピンバッジ

2 事業の効果

今回試作として「まるとJANGO便」を販売し、利用者からアンケートを回収したところ、地域ならではの商品に対する独自性や意外性を求める消費者の期待や関心の高さが感じられたほか、今後に期待する声も多く寄せられた。また、「まるとJANGO体験ツアー」の参加者が、JANGO便の購入者にもなっていることから、観光、食、特産の一体化が図られるなどPR効果が現れ始めている。



まるとJANGO便

よこて市商工会(県南地区)

事業名 「中華そば&らーめんの街・十文字」PR事業

1 事業内容

平成24年から3年間、「東北観光博覧会」、「J」R destination キャンペーン、「国民文化祭」と全国規模の大型イベントが目白押しに実施され、県内外から多くの観光客の入り込みが見込まれます。

これをビジネスチャンスととらえ、よこて市商工会では県の企画提案型事業を活用して「中華そば&らーめんの街・十文字」PR事業に取り組んでいます。

昔ながらの味で親しまれている「十文字の中華そば」は、「あっさり」「醤油味」「縮れ麺」で十文字地区の「食文化」を代表するものです。「十文字の中華そば・らーめん」の美味しさを紹介し、認知度を高めながら、地域ブランドの向上を図ります。

PRツール(ポスター、ガイドブック、店舗用のぼり、イベント用横幕、HP)により、「中華そば&らーめんの街・十文字」の魅力情報を発信し、誘客につなげたいと思います。

「川柳コンクール」も開催し、一杯のらーめんにちなんだ川柳を募集しました。らーめんにまつわるエピソードが川柳として県内外(遠くは、神奈川県、島根県)から寄せられました。審査会で選出された優秀作品は、らーめん店やHPで紹介しております。川柳を通じて「十文字の中華そば・らーめん」のファンが増えてくれれば幸いです。

アピールキャンペーンは、「全県商工会おもてなしまつり」、仙台市おおまち商店街でのイベントに参加致しました。また、J R 東北地区の主要駅、東北地区の道の駅などにポスター掲示とガイドブックの配布を行い、広範囲にPR活動を実施しました。

ご当地らーめんとして「地域のイメージアップ」に貢献できるように、関係各位のご理解とご協力を得ながら、今後もPR活動を継続していきたいと思っております。

HP [『中華そば らーめんの街 十文字』](#) で検索



ガイドブックの表紙



川柳コンクールのチラシ